

2022年3月

5月の第3回社員総会を会員200法人達成で迎えましょう(会員の皆さまへのお願い)

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

会長 茨木範宏

早春の侯、いかがお過ごしでしょうか。日頃より社会福祉経営全国会議(以下「全国会議」)の活動への参加、真にありがとうございます。

さて、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻はいまだ止まらず、多くの命が奪われています。私たちはこのことに憂慮し世界の「戦争反対」の声に連帯するものです。

また新型コロナウイルス感染症の第6波が猛威をふるうなか、子どもたちや利用者さんの命とくらしを守り、懸命の奮闘が続いていると思います。心から敬意を表明します。

全国会議は、2020年4月のコロナ禍で発足して以来、コロナ対策も含めた社会福祉事業の拡充を求め国への声をあげる活動と、自らの経営力を高め民主的な法人経営をすすめる活動にとりくんできました。特に今年度は地域ブロックの活動に重きをおき、各ブロックでの交流、学習も着実に取り組まれているところです。みなさんの積極的な参画で、これら活動にとりくむ中で「全国会議があっ

てよかった」という声もいただき大変嬉しく思います。

いまコロナ禍で社会福祉経営はさらに不安定さを増しています。また国のすすめる全世代型社会保障が、全世代に負担を求めるまやかしの政策であることも明らかになっています。さらには権利としての社会福祉がよって立つ憲法をめぐっても不穏な動きとなっています。こうした情勢に対し、全国会議のさらなる活動の発展が必要と実感しているところです。

そのためには、その輪をさらにひと回りもふた回りも大きくしていくことが重要です。発足時の会員目標は当面200法人としましたが、現在は154法人のみなさまに参加いただいています。3月はちょうど年度替わりの理事会が開催される時期でもあります。会員のみなさまのご協力で、目標の200法人を達成し総会が迎えられるよう、以下の取り組みへのご協力をお願いいたします。

- (1) 入会をすすめたい法人をご紹介ください。
- (2) 全国会議パンフ、紹介動画などを活用し、また SNS 等の発信で、全国会議の存在を知らせてください。
- (3) 研究者、関係者に準会員になるよう働きかけてください。
- (4) 各ブロック・地域で取り組みを具体化してください。

この2年余りの活動で、あらためて権利としての社会福祉をかかげる社会福祉法人の全国組織の必要性和、その仲間を広げることが重要であることを実感しました。会員のみなさまのご協力で、来たる5月27日の第3回社員総会を200法人達成でむかえ、さらなる活動の飛躍をはかりたいと思います。よろしく願いいたします。